

美浜の会ニュース

No. 170

2021. 7. 2

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会 (代表) 小山 英之
大阪市北区西天満4-3-3 星光ビル3階 TEL 06-6367-6580 FAX 6367-6581 郵便振替: 00950-6-308171 (美浜の会)
⇒ ホームページURL <http://www.jca.apc.org/mihama> ⇐

頒 価 300円
購読料 年2千円

老朽原発美浜3号の原子炉起動糾弾！ 特有の危険とずさんな避難計画の実態を広め 美浜3号を早期に止め廃炉へ！「40年原則」を遵守せよ

逼迫する関電原発の使用済燃料プール

むつ「中間貯蔵施設」の共用化を阻止し、原発の運転停止へ追い込もう

◆美浜3号の原子炉起動糾弾！ わずか4ヶ月の運転で実績作りを優先

関電は6月23日、40年超え老朽美浜3号の原子炉起動を強行した。多くの反対と不安の声を踏みにじった暴挙を断じて許すことはできない。7月2日には、出力75%で調整運転中に、電源喪失時に蒸気発生器へ注水するタービン動補助給水ポンプの試験で、水圧に異常が生じた。関電は原発を止めずに調査すると発表しているが、直ちに運転を停止すべきだ。さらに7月3日には、大飯裁判の判決を無視して大飯3号を起動しようとしているが、これも中止すべきだ。

福井・関西の住民9名は、美浜3号起動2日前の6月21日、大阪地裁に美浜3号の運転禁止を求める仮処分を申請した。特重施設（テロ対策等施設）が未完で10月23日に運転停止になる前に、早期に決定が出るよう求めている。仮処分裁判を支援していこう。

美浜3号が10月には運転停止に追い込まれることを知っていながら、わずか4ヶ月の運転を強行し、国内初の老朽原発再稼働という実績作りを優先した。住民の不安を顧みようともしない。他方、高浜1・2号は、6月9日がテロ対策等施設の完成期限で、これに到底間に合わず長期の運転停止に入った。

関電はテロ対策等施設の完成予定を明らかにしていない。6月25日の株主総会でも株主の質問に答えていない。2019年当時の報道では、工事完成までに美浜3号は1年半、高浜1・2号は2年半かかるとなっている。これを単純に当てはめれば、完成予定時期は、美浜3号は2023年4月、高浜1・2号は2023年12月となり、長期の運転停止が続く。

美浜3号の早期停止を求め、同時に長期停止に備え、一層力強い運動を創っていこう。

◆「40年原則」を遵守させ、老朽炉の再稼働を止めよう

福島原発事故後に、原発の寿命は40年を原則とし、20年延長は例外中の例外となった。現在20年延長が認められているのは、関電の3原発と東海第二原発だけだ。しかし、水戸地裁が運転禁止の判決を出したように、東海第二原発の再稼働は目途すらたっていない。関電3基の現状か

目次

▼美浜3号を早期に止め廃炉へ・・・p1 ▼美浜3仮処分申立て行動に参加・・・p4 ▼長浜市民の県内避難先は未定?!・・・p5 ▼基準地震動は過小評価・・・p6 ▼蒸気発生器等の耐震評価はぎりぎり・・・p8 ▼電気ケーブルの劣化・・・p9 ▼原子炉容器の脆化・・・p10 ▼火山灰でフィルタ交換間に合わず・・・p11 ▼避難者受入れの実効性・・・p13 ▼6月8日大飯裁判控訴審の報告・・・p14 ▼資料：逼迫する関電使用済燃料プール・・・p16

ら、美浜3号を早期に止めることが重要になっている。

ところで、寿命延長の実態はどうか。美浜3号は44歳、高浜1号は46歳、高浜2号は45歳、東海第二は42歳。美浜3号でも60年寿命まで16年しかなく、長期運転停止も考慮すれば運転できるのは15年以下となる。寿命15年程の施設とともに「共存共栄」の道はもはやなく、斜陽化する原子力産業に、立地地元を含めた原発推進派の焦りがある。

そのため自民党の原発推進派を中心に、寿命延長で中継ぎをしながら、建て替え（リプレース）や新增設で原発依存を続けようとしている。しかし、2050年カーボンニュートラル実現に向けた政府のグリーン成長戦略の改訂案（6月2日）では、原発を「引き続き最大限活用していく」との表現は削除された。さらに、夏頃に改定するエネルギー基本計画の案では、原発のリプレース（建て替え）推進を明記しない方向で調整を進めていると各紙が報じている。これらの背景には、国民の脱原発の根強い声、東電の不祥事、原発の運転等の担い手の「人材の崖」、さらに原発依存のままでは自然エネルギーの普及はおぼつかなく国際競争に打ち勝てないという事情がある。

これら報道について、福井県知事や地元推進派からは批判が噴出している。知事は7月2日に東京に向き、経産大臣にリプレース等をエネ基本計画に書きこむよう求めた。先立つ21日には、老朽原発の再稼働に同意した福井県だけに特化した「共創会議」（福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議）が開かれた。参加者は、県知事、立地首長、国、事業者、有識者（福井県経団連会長など）。知事は、国のエネルギー政策の明確化、原子力研究開発・人材育成等を求め、原発依存にいまだしがみついている。

政府の方針では、2030年時点で原発依存を約2割（30基稼働）としているが、仮にその時点で40歳を超え原発全てを寿命延長しても14基で、計画の実現性はない。関電の場合、2030年で40歳未満は大飯3・4号だけだが、それも1～2年で40歳を超える。関電の原発は約10年で衰退の一途をたどる。「40年原則」を遵守させ、関電原発ゼロを実現しよう。

◆美浜3号特有の危険と避難計画のずさんさ

美浜原発には老朽炉特有の危険と同時に、地震の影響が大きいという危険がある（6～12頁）。さらに、避難計画も他の原発と比べても極めてずさんだ。

- **地震動**：美浜原発は活断層の巣の中にあり、敷地に最大の揺れをもたらすC断層による基準地震動は993ガルと大きい。高浜原発700ガル、大飯原発856ガルと比べても大きな揺れに襲われる。さらに、昨年のおおきな地震判決に従い、地震規模の「ばらつき」を考慮すれば、基準地震動は1,330ガルに跳ね上がり、耐震補強した美浜3号でも地震の揺れに耐えられない。
- **蒸気発生器等の機器の耐震性**：基準地震動993ガルへの引き上げに際し、機器の耐震評価が問題になった。審査では、蒸気発生器や炉内燃料集合体の耐震性は、これまでの評価方法では安全性が確保できなかった。そのため、蒸気発生器の場合は、地震による揺れが収まる程度（減衰定数）を1%から3%に緩めて（揺れが収まりやすい）審査合格とした。また、炉内燃料集合体の評価では、減衰定数を1%から10%に緩めた。それでも許容値ギリギリで余裕がない。
- **電気ケーブルの絶縁性能の低下**：難燃性ケーブルが劣化して、事故時に制御不能に陥る危険がある。事故の発生により、ケーブルの絶縁性能の低下が急速に進展するが、「事故時の健全性を事前の点検で担保するのは困難」だと、関電自身が認めている。さらに、国は劣化を判断する基準さえ持っていない。
- **原子炉容器の脆化**：取替ができない原子炉圧力容器は、中性子線によって脆化する。関電は、

脆くなっている実態を確認するために炉内の試験片を取り出し、そのデータから安全性は確保できているという。しかし規制委は、試験片の原データを確認することもしていない。

- **火山灰対策**：京都市越畑の火山灰（DNP）を基に、敷地内の火山灰層厚が10cmから22cmに引き上げられた。これによって、100cmの積雪と火山灰の重みにタンクが耐えられない危険、非常用ディーゼル発電機のフィルタ交換が間に合わず、全電源喪失に陥る危険がある。
- **避難計画**：美浜原発の場合、UPZ住民は約28万人で、高浜や大飯のそれより約10万人も多い。その内約23万人が福井県民だ。美浜町住民の避難先は立地のおおい町、避難道路の国道8号・北陸道は冬には雪で通行止めになる、UPZ圏内要援護者の避難先は決まっていない、コロナ禍では避難所は足りない等々。福井県は「事故が起きてから避難先を調整する」と平然と述べている。水戸地裁の判決に従えば、美浜の避難計画も実効性はなく、再稼働はできない。

◆関電の使用済燃料プールはひっ迫。むつ「中間貯蔵施設」共用化を阻止して原発停止へ

関電のアキレス腱は、使用済燃料問題だ。表のように、使用済燃料プールは満杯に近づいている。美浜3号は、耐震補強に迫られ「フリースタンディングラック」に取り替えたため、貯蔵量は約300体分少なくなった。今後3.6サイクル運転で、5年以内にはプールは満杯となり、燃料取替ができず原発の運転はできなくなる。20年の寿命延長をまっとうする前に運転停止となる。電事連の報告では、美浜1～3号の合計で、4サイクル・5年以上運転可能となっているが、上記のようにもっと厳しい。廃炉原発のプールを使用することは許されない。

高浜原発は1～4号プールを共有して使う場合でも、今後2.9サイクル運転で、4年以内に満杯。大飯3・4号は、4.5サイクル運転で、6年で満杯になる（詳細は16頁）。

このプール逼迫の当面の事実上の緩和策が、皮肉にもテロ対策等施設の未完による長期の運転停止だ。美浜3号は10月から1年半以上、高浜1・2号は6月から2年半以上、大飯3・4号も来年8月24日から1年以上の停止となり、その間、使用済燃料は発生しない。

関電はこのプールのひっ迫状況を乗り切らため、むつ「中間貯蔵施設」の共用化を狙っ

ている。むつ市の反発にも拘わらず、2023年12月までに「県外搬出先」を確定すると表明し老朽原発再稼働の同意を引き出した。地元のむつ市・青森県、全国の運動と連帯し、共用化にも、むつ「中間貯蔵」そのものにも反対しよう。原発サイト内乾式貯蔵にも反対し、早期に原発停止を勝ち取ろう。再稼働を止めて核のゴミのこれ以上の発生を止めよう。

関電原発の使用済燃料の貯蔵状況 2021.3 （燃料集合体）

原発	貯蔵量	管理容量	空き	残り回数	残り年数
美浜3号	412	600	188	3.6	4.8
(美浜1号)	231	288	57		
(美浜2号)	510	555	45		
(美浜合計)	1,153	1,443	290	5.6	7.5
高浜1号	138	216	78	1.5	2.0
高浜2号	58	216	158	3.0	4.0
高浜3号	1,293	1,561	268	5.2	6.9
高浜4号	1,454	1,561	107	2.1	2.8
(高浜合計)	2,943	3,554	611	2.9	3.9
大飯3号	1,546	1,873	327	5.1	6.8
大飯4号	1,625	1,873	248	3.9	5.2
(3・4合計)	3,171	3,746	575	4.5	6.0
(1・2号共用)	629	704	75		
(大飯合計)	3,800	4,450	650	5.1	6.8

関電ホームページ等より美浜の会作成

◆老朽原発の運転停止に向けて、運動を強めていこう

超危険な老朽美浜3号の運転を早期に止め、廃炉に追い込もう。長期運転停止の期間に、避難元と避難先で、安全性や避難計画の問題を広く訴え、反対の世論を高めていこう。そのためにも、各地で学習会や座談会を開き議論を広げよう。「40年原則」を遵守させ、超危険な老朽原発の再稼働を止め、廃炉に追い込もう。